

困難症、神経痛、筋肉痛などに利用されています。さらに外用湿布として、火傷や腫れ物、皮膚炎にも利用されてきました。

この植物に含まれる主な有効成分には、モルヒネにやや似た作用を示すパッシフロリンなどのアルカロイド、サポナリンやピテキシンなどの各種フラボノイド、マルトールなどがあります。

### AFFINITY

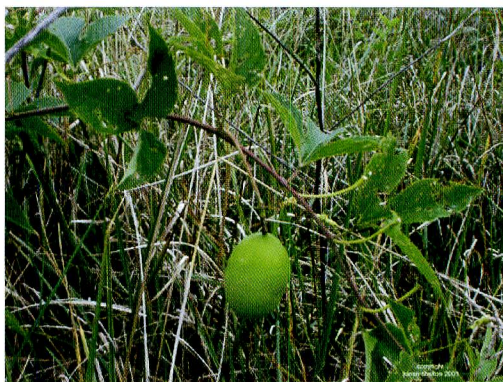
*Passiflora incarnata* は、主に精神、神経系に作用します。

### CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、主に子供の不眠症に考慮されます。

■精神、神経系：マザーティンクチャーまたは1Xで使用します。

- ・不眠症：とくに泣き叫ぶ子供や精神的な緊張からの不眠症。飲酒後の不眠症にも使用されます。
- ・ヒステリー
- ・菌生：イライラして泣き叫びます。眠ることができません。
- ・てんかん
- ・不安障害



(K)

### ■その他

- ・眼球突出症：眼球が押し出されるような感覚になります。
- ・下痢：食後や食間に胃が重く、放屁や酸っぱいおぐびが出ます。
- ・喘息：夜に悪化します。

### MODALITY

- ▶ 静かにしていること
- ◀ 心配すること、疲労、興奮、夜、食後、神経質になることなど

## Petroleum rectificatum 石油 [皮膚のひび割れ]

Purified white petroleum

### BACK GROUND

Petroleum は、原油から精製してつくられます。語源は、ラテン語の Petra（岩）、oleum（油）に由来します。

原油は、さまざまな製品の原料になっており、家庭用石油ストーブ、ジェット航空機などの燃料としても幅広く利用されています。医療の分野においても、柔軟、保護効果のある軟膏の原料になったり、頭髮をつくる細胞を活性化することから、脱毛の治療に使用されて非常に効果を上げています。

原油から分別蒸留で得られるのは、温度の低い順に、精油ガス（メタン、エタン、プロパン、ブタン）、ガソリン、ディーゼル油（灯油）です。また、残った物から液体潤滑油、固形分（パラフィンワックス）、アスファルト（石油ピッチ）などが採れます。

### MIND

Petroleum タイプは、皮膚がかさかさ乾燥しています。イライラしていて、すぐにカッとなるところがあります。まるで自分の死期が迫っているかのように思い、いろいろな物事を片づけようとしてせっかちになります。記憶力が弱く、忘れっぽい面があり、考える力が混乱することがあります。一般的に冬の寒い時期になると、症状が悪化する傾向があります。

誰かが横にいるような幻覚や、自分の体が2つになっているような感覚になることがあります。また授乳中の母親の例で、赤ちゃんが2人いるような幻覚を見ることがあります。肉や脂っこい物を嫌います。喉は非常に渇きます。

## MATERIAL

このレメディは、石油を分別蒸留して得た灯油（炭素数が10～12の炭化水素の混合物、比重0.78～0.84、沸点160～250℃）を希釈したものを原料とするメーカーが多いようです。もともとは、ビルマのランゲーン油田から採取した原油を原料につくられていました。ところが、戦争により原料を入手できなくなり、現在は精製された純粋な灯油に切り替えられましたが、プルーピングの結果は同等のものになっています。

## AFFINITY

Petroleumは、主に皮膚（皺のある場所、頭皮、顔、生殖器など）、後頭部、粘膜、胃、腸、精神、神経などに親和性をもっています。

## CLINICAL APPLICATIONS

### ■皮膚

- ・乾癬、ヘルペス、帯状疱疹
- ・陰部ヘルペス：病変が太腿や肛門部にまで広がることがあります。
- ・しもやけ：主に手足の先に、強いかゆみと焼けるような痛みがあります。
- ・皮膚のひび割れ：皮膚は乾燥し、深くひび割れます。ときに出血があります。
- ・手足のひび割れ：手や指先、手掌などの皮膚にもひび割れが起こります。
- ・湿疹：とくに美容師や大工、自動車修理工、肉体労働者などで、タールや石油、炭化水素系の薬剤を手につけてしまう職業の人

### ・脱毛

### ■神経

- ・乗り物酔い：眼を閉じていたり、前もって食事をし

ていると軽減されます。

- ・頭痛：とくに朝の頭痛
- ・めまい：酒酔いや船酔いのような感じのめまいがします。通常、吐き気を伴います。

### ■消化器系

- ・下痢：日中にだけ下痢をします。ときに、激しい腹痛を伴います。排便後に肛門がかゆくなります。朝気持ちが悪くなり、唾液分泌過多になったり、冷や汗をかくことがあります。下痢や軟便のとき、または排便後に、凄いい食欲になります。キャベツを食べた後の下痢にも使用します。腹部に冷感を感じることがあります。胃に空腹感を感じますが、食事をすると改善します。肉や脂分を嫌います。
- ・吐き気：唾液が口の中に出てきます。乗り物酔いで顕著になります。妊娠時の悪阻では、気持ちが悪くなり、かがまなければなりません。

## MODALITY

▶ 暖かい気候、乾燥した気候、夏、頭を高くして横になること、昼どき、外気など

◀ 各種乗り物の動き、寒い気候、冬、食事、キャベツ、ストレス、精神的苦痛、性交、嵐や嵐の前、触られること、湿気など

## RELATIONS

- ・ Antidote to : Nitricum acidum, 鉛中毒
- ・ Antidoted by : Coccus, Nux vomica, Phosphorus
- ・ Complementary : Sepiaの前に。
- ・ Compatible : Bryonia, Calcarea carbonica, Lycopodium, Nitricum acidum, Nux vomica, Pulsatilla, Sepia, Silica, Sulphur

## Petroselinum パセリ [尿道痛]

Petroselinum crispum Hill.

## BACK GROUND

Petroselinumは、ヨーロッパ南部から地中海沿岸にかけて原産の、セリ科オランダゼリ属の2年草食用植物、パセリです。

日本では、一般的な葉の縮れたパセリ（モスカールパセリ）がよく知られていますが、このパセリは日本

ではオランダゼリ（和蘭芹）、イタリアンパセリの名で呼ばれています。日本には、17世紀に渡来しています。貝原益軒の『大和本草』に載っています。この時期の日本は、鎖国状態だったために、ヨーロッパから来たセリということで、オランダゼリという名がついたようです。オランダが、この植物の産地ではあり